

火曜会通信

発行日：平成16年1月1日

発行：伊丹市文化財ボランティアの会

発行所：伊丹市千櫓1丁目1番地

伊丹市教育委員会事務局内

書籍「神社ウオッチング」に出会って

亀井 尚

神社とは何か！黒田龍二先生は、朝日百科日本の国宝「国宝と歴史の旅」、「神社建築と祭り」の中で神社について次のように述べておられる。

“基本的な神社の機能は、国家・氏族・地縁など、何らかの共同体の固有の信仰対象として宗教上の核となることである。血縁、地縁による宗教上の核は、原始時代の信仰の中にもあったろうが、それら全てを「神社信仰」と言うわけにはいかない。地方で既に成立していた宗教施設を国家が神社として認知し、幣帛を配ることが基本である。平安時代中期に出された「延喜式」には、2861所、3132座の神名が記載されており、これらが、この時点で国家に認められた神社である。”

唯一神のキリスト教、イスラム教、ゾロアスター教とは異なり、日本には八百万の神が造物主としておられる。これは、それぞれの神が専門分野での造物主であるギリシャやローマの神々をつながる。ギリシャ・ローマの神々は愛と美の神アフロディテ、酒の神バックスや知的活動を司り音楽の神であるミューズ等々なかなかユーモラスで、我々日本人にとっても親しみやすい。しかし、日本の神社は、土地の豪族、支配者らが建立し、自らが神として祀られるところが大きく異なる。黒田先生の著書には、神社の成立ちや、建築様式および神仏習合など神社にかかわる全体的な概念等が書かれており、非常に参考になる。

過日、猪名野神社にある団体を案内させていただいた。そのおり、千木や堅魚木の本数によって男神か女神かを識別できるとおっしゃる方がおられた。しかし、黒田先生の著書には千木や堅魚木の本数や形で女神か男神かを識別することについては記述がない。後日、外山晴彦氏の著書「神社ウオッチング」を読む機会があった。これによると「千木が内削や偶数の場合は女神を祀り、外削や奇数の場合は男神が祀られていると言われるが実態は原則どおりではない」と記載されており、これまでの疑問が氷解する思いであった。同書は平易にわかり易く書かれており、とても参考になる。黒田先生の著書とともに大切にしていきたい。

主な行事予定 定例会(1月～4月)

1月13日(火)	新年会	13:00より	昆陽東	よつばセンター
2月10日(火)	定例会	講座「荒木村重の反逆云々」	森本啓一氏	スワンホール
3月9日(火)	定例会	年度総括		中央公民館
4月13日(火)	定例会	年次総会		中央公民館

恒例の秋期研修バス旅行を11月11日に予定どおり実施しました。小雨模様の中を伊丹市役所前に集合、38名の参加者はバスに乗り込み定刻に出発しました。草津市を目指してバスは走り出しましたが、豊中ICから高速道路に入っても渋滞で速度が上がりません。時間をやきもきしているところに緊急車両がサイレンを鳴らして追い越していきました。茨木IC付近が事故発生の現場です。現場を越えてようやく車の流れがスムーズになりましたが、今度は雨がさらにきつくなりあわてました。京都東ICを越えたあたりでは豪雨となり、大津サービスエリアでのトイレ休憩は中止する事態となりました。

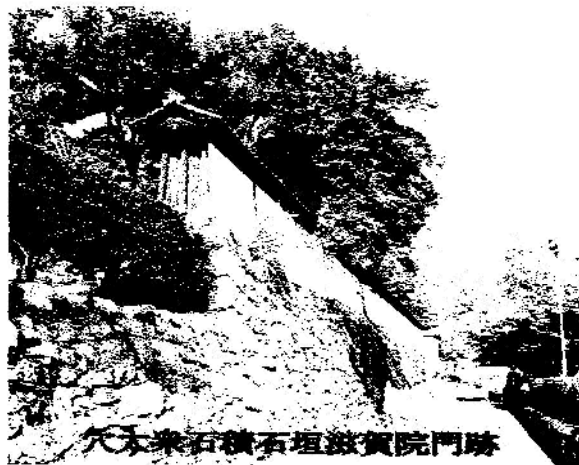
それでも草津市に到着したころには雨も小降りとなり、バスの降車場所をアーケードのある通りへと変更しました。草津宿本陣では若い学芸員の丁寧な解説で江戸時代の宿場の様子を楽しく知ることができました。

次は昔の東海道を南に300mほど歩いたところにある当時「政所」と呼ばれた太田道灌の子孫が伝える資料館の見学です。太田家は酒造りを130年前に始めたとのことで、資料館の中では酒樽の木で作られたテーブルでお酒をいただく幸運に恵まれました。当主の説明は興味深く、ゆっくり聞きたいと思いつつ時間に追われるようにバスへと移動し、

午後の目的地石積みの町坂本に向かいました。

坂本に到着するころには雨もほとんどやみ、ほっとしたものです。昼食は創業300年の老舗の「鶴喜そば」で一息入れることができました。

午後の集合場所ではボランティアガイドの方が待機しており、2グループに分かれ、「慈眼堂」「滋賀院門跡」「日吉大社」をそれぞれ案内していただきました。雨上がりの「穴太衆石積み」の道を歩き、紅葉には少し早いですがそれでも寺院の境内には老樹が茂り、



紅葉の美しさには満足しました。予定の2時間もまたたく間に過ぎて、お土産を買う時間もそこそこにバスに乗り込みました。

今回は会員31名と会員外の方が7名参加していただき、にぎやかに楽しい研修ができたようにおもいます。

往復の車中では、Sさん、Fさんによってクイズや簡易体操で疲れをほぐし、Iさんのハーモニカ吹奏と合唱で盛り上がりバスの移動時間が短く感じたほどです。現地で雨が小降りになったのも皆さんの車中のパワーが雨雲を吹き飛ばしたと乗務員さんが言っていました。

おかげで無事に研修旅行ができましたことを担当した一人として感謝しております。皆様のご協力ありがとうございました。

Q&Aコーナー

Q 猪名野神社に「算額」が掲げられていると聞きましたが「算額」とはどのようなものでしょうか。

A 算額とは神社や仏閣に奉納した数学（和算）の絵馬です。江戸時代中期、寛文年間の頃から始まった風習といわれ、現在全国に820面の算額が現存しています。算額は、数学の問題が解けたことを神仏に感謝し、ますます勉学に励むことを祈願して奉納されたことと思われます。人の集まる神社仏閣を発表の場とし、難問や問題だけを書いて回答をつけずに奉納するといったことも行われました。算額奉納の習慣は世界にも例を見ず、日本独特の文化であり、明治になって洋算の導入を容易にしたのも算額を奉納する習慣が貢献したものと考えられています。猪名野神社の算額は、嘉永6年（1853）岡田社中が奉納したもので、昭和43年に桑原秀夫氏によって復元されました。縦98cm、横199cmあります。

参考資料：世界大百科事典 HP 和算…江戸時代の数学…HP 和算の館

活動報告（金曜日担当班）

樹々に紅葉の装いが始まった10月28日のさわやかな秋のひとつ、22名の参加を得て金曜グループの担当で分科会「鬼貫の句碑巡り」を実施しました。

伊丹市内には「鬼貫」の句碑が15箇所ありますが、今回はそのなかの6箇所を巡ることにしました。

まず、句碑巡りに先立ち、9月9日の火曜会の定例会で林氏から句碑にある15句を詳しく解説していただき、それを踏まえての句碑巡りを実施しました。

説明役は、金曜グループの新人4人が主体的に担当し、足らざるところを先輩の方々に補っていただくという役割分担にしました。

今回は、遍照寺の「骸骨の上を粧て花見哉」を是非とも見てみたいとの要望が強かったため、行程を伊丹小学校校庭南→遍照寺→昆陽池→端ヶ池→緑ヶ丘公園としましたので、少し長めの散策となりました。

句碑説明の巧拙はご容赦いただくとして、さわやかな天候に恵まれ、心地よい汗をかきながら「鬼貫」の世界に思いを馳せての楽しい半日でした。

以上

主な活動の記録 (10月～12月)

<郷町館ガイド他>

10月 2日 (木)	加古川市平岡公民館	15名	担当木曜班
10月 5日 (日)	有岡ライオンズクラブ	40名	担当日曜班
10月 8日 (水)	向陽台高校西宮キャンパス	21名	担当水曜班
10月 10日 (金)	大阪歴史散歩の会	20名	担当金曜班
10月 16日 (木)	伊丹小学校6年生	33名	担当木曜班
10月 19日 (日)	神戸史談会	45名	担当日曜班
10月 24日 (金)	大阪府高校通信制教育研究会	10名	担当金曜班
10月 28日 (火)	伊丹市緑ヶ丘自治会	14名	担当服部
10月 30日 (木)	鈴原校区民生委員交流会	38名	担当木曜班
11月 14日 (金)	大阪府キッズクラブボランティアの会	12名	担当金曜班
11月 18日 (火)	茨木市老人大学歴史OB会	12名	担当亀田他3名
11月 27日 (木)	アイ愛センター・いきいきデイサービス	35名	担当木曜班
11月 28日 (金)	阪神広域行政協議会	70名	担当金曜班
12月 2日 (火)	自然俳句会蒲公英	15名	担当亀井・亀田
12月 4日 (木)	京都SKY古代史同好会	19名	担当木曜班
12月 7日 (日)	瑞穂小地区社協	36名	担当日曜班
12月 12日 (金)	岡山朝日カルチャセンター	20名	担当池田
12月 13日 (土)	日本調理科学会近畿支部	30名	担当日曜班

注) 土曜班は日曜班と協同とする

<生きがいデイサービス支援>: 地域の歴史散策・ハーモニカ演奏

10月 21日 (火)	神津ときめきセンター	16名	担当	池田・寺谷・渡辺
10月 27日 (月)	あじさいセンター	13名	担当	池田・杉本・福岡
10月 31日 (金)	有岡センター	6名	担当	池田・酒井・亀井・福岡

<土曜いきいき教室>: 市教委主催、火曜会指導協力

12月 6日 (土)	中央公民館 しめ縄作り	親子32組	担当	火曜会・今見・玉井
12月 13日 (土)	中央公民館 しめ縄作り	親子28組	担当	火曜会・今見・玉井

<その他>

・市内史跡清掃

11月 16日 (日)	有岡城祉公園: 柴田博	御願塚古墳: 福岡
	伊丹廃寺公園: 寺谷・難波・森田	

・自治会主催イベント・協力

11月 23日 (日)	JR伊丹駅周辺歴史再発見	担当	池田・寺谷
-------------	--------------	----	-------

<分科会>

10月 28日 (火)	鬼貫句碑めぐり	22名	担当	金曜班
11月 25日 (火)	三田市内文化財を訪ねて	18名	担当	火曜班 (坂根)